



聖徒たちと歩む聖書~7~

ノア その4

「砕かれた バベルの塔」

創世記9~11章 ~ノアの子孫たち~

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. ノアの過ち

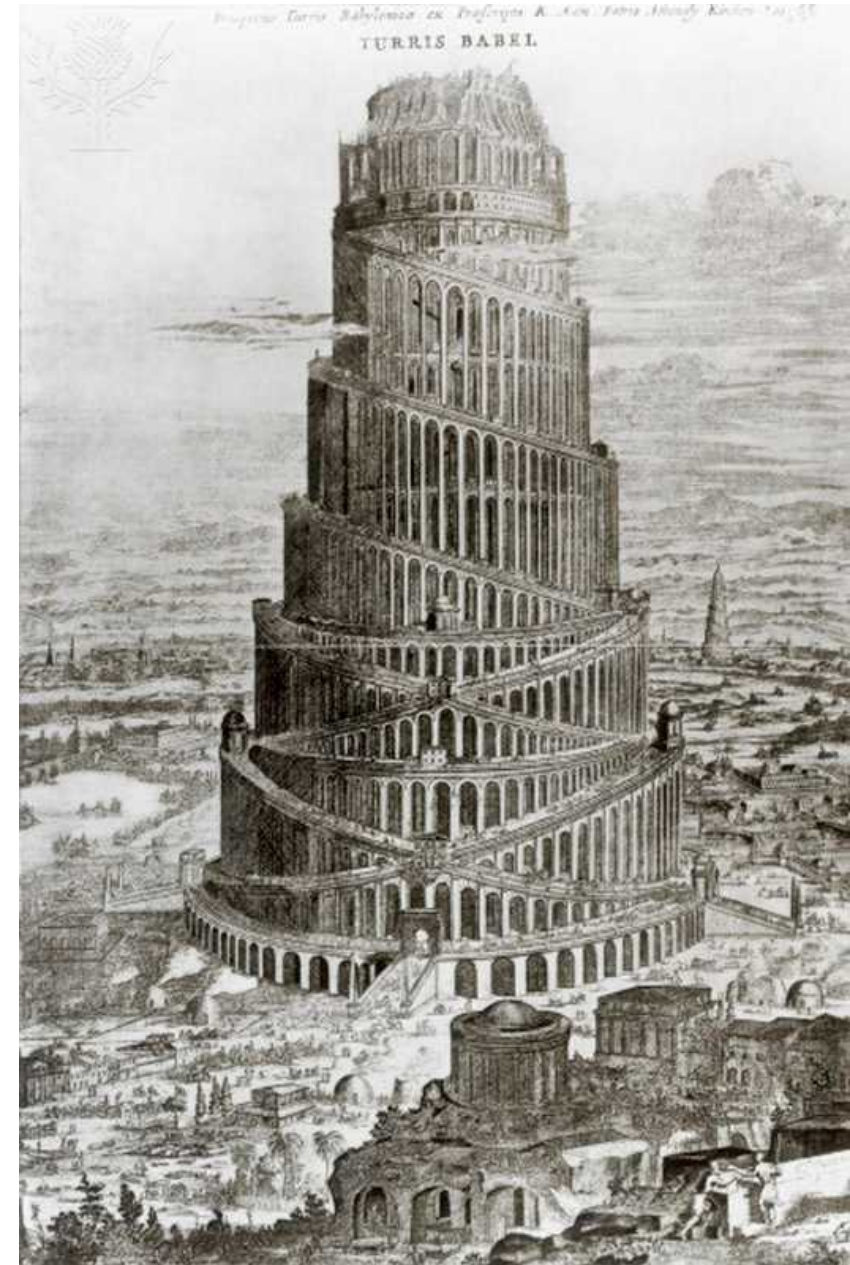
II. ノアから増え広がる人類

III. バベルの塔事件

IV. 人類の希望はどこにある？

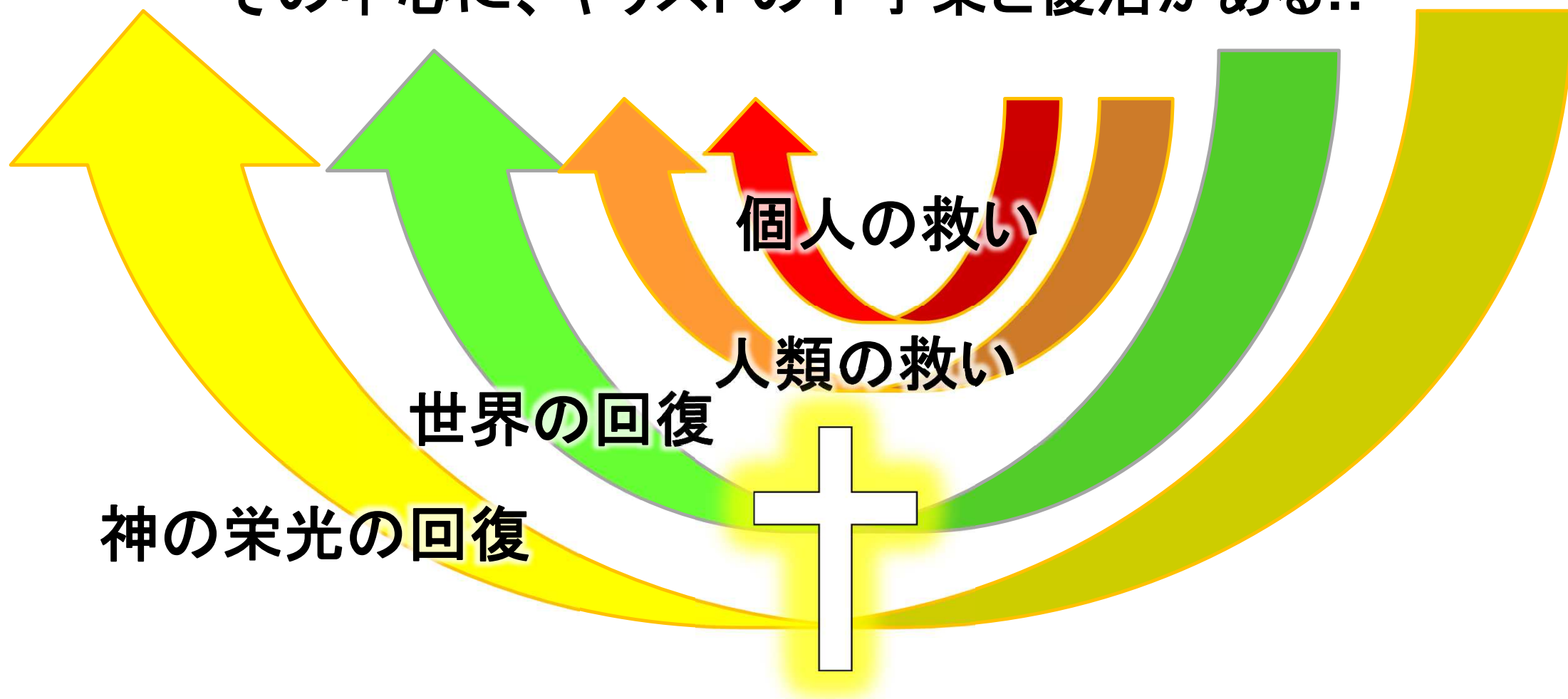
ノアの生涯に学ぶ

ノアを支えたノアの信仰



聖書の最大のテーマは？ 【神の栄光の回復】

その中心に、キリストの十字架と復活がある!!



【創造主の祝福・エデン契約】

■ 神は、人類に、世界を委ねた。

■ しかし、人は、サタンにそそのかされ、
禁断の実を口にする罪を犯した。

■ 人は、地の統治権をサタンに奪われ、
神と断絶し、死と滅びに直面した。



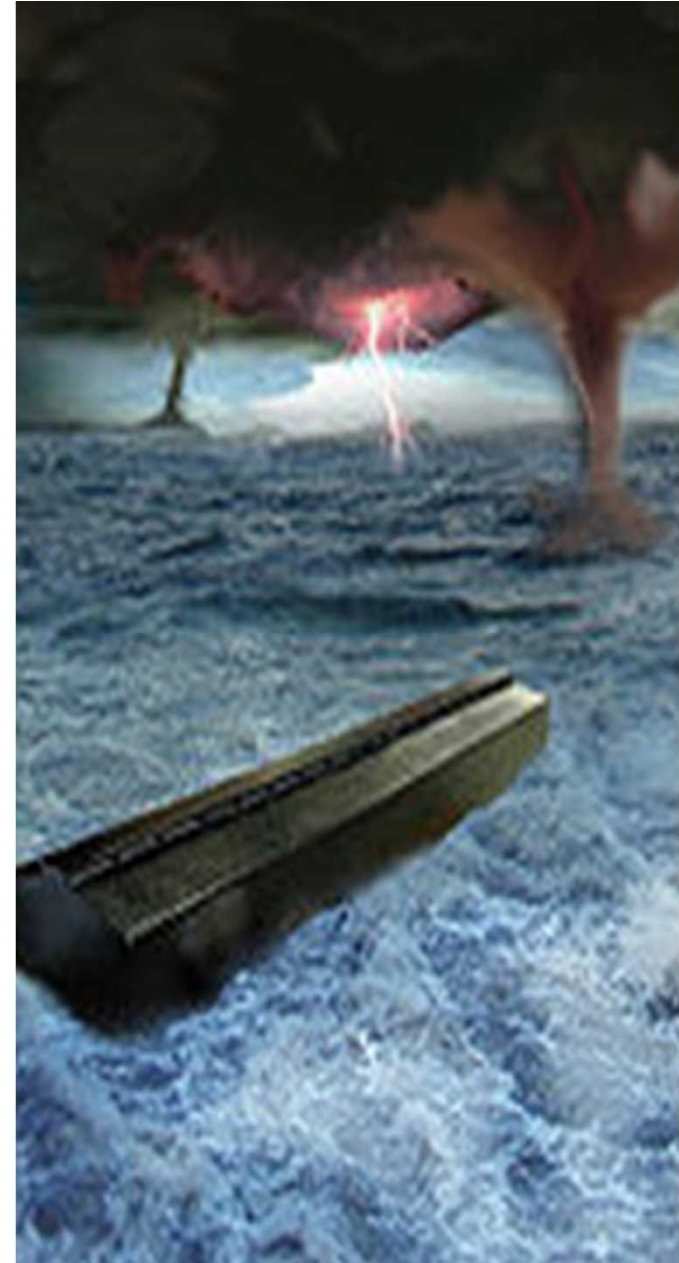
【神の救いの約束・アダム契約】

- 罪を犯した人間に、
神は、メシア(救い主)を送ることを
約束された。
- メシアは、女の子孫から誕生し、
命と引き換えに悪魔を打ち倒し、
人間を罪の苦しみから解放する。



【大洪水の裁き】

- 神は、人間の良心に世界を委ねた。
- 人類は罪を極め、悪霊と交わるほどに墮落。
⇒メシア誕生を阻止するサタンの働き!!
- 神は、120年後の裁きを告げた。
- 箱舟を造って乗り込んだ、
ノアと家族8人だけが救われた。
- 一年以上の大洪水により、地上は激変。
爪痕の上で、人類の新しい歩みが始まった。



【ノア契約 まとめ】

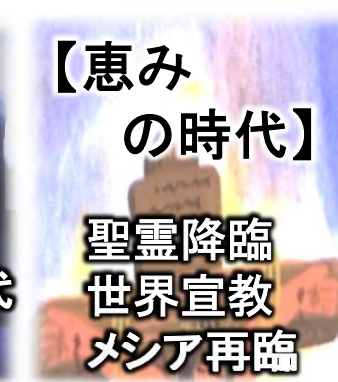
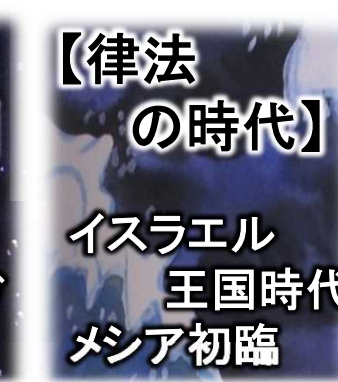
★対象... ノア、全人類、全生物。

★期間... 永遠

- ★内容...
- ①地に満ちよ。
 - ②動物たちへの支配権
 - ③肉食の許可
 - ④血を食べることの禁止
命の大切さを教える。
 - ⑤死刑制度が立てられる。
 - ⑥大洪水は二度と起こさない。

★しるし... 虹





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの
塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

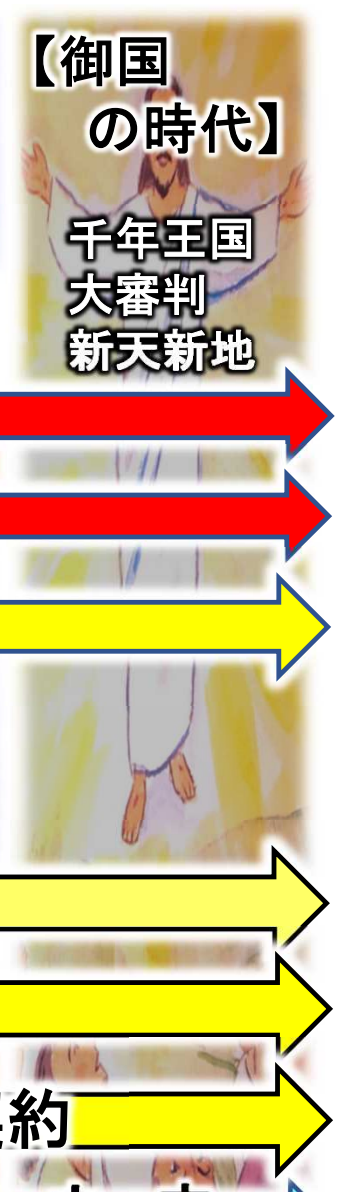
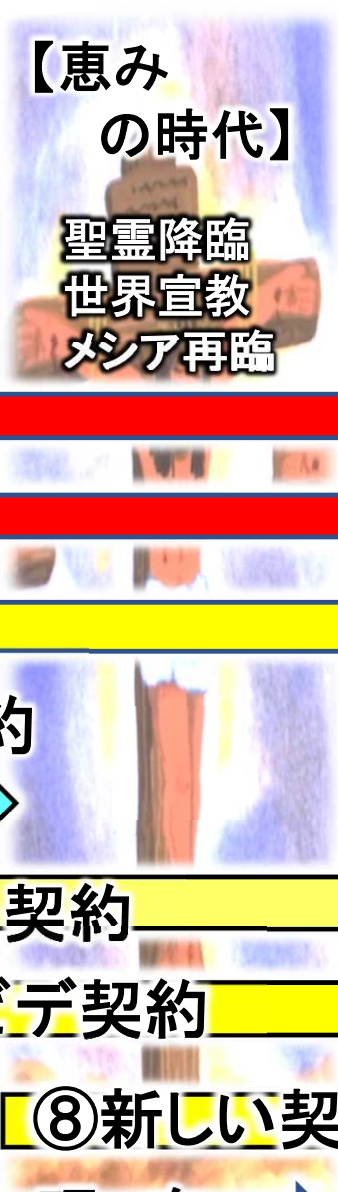
⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

過去

現在

未来



【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの
塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

過去

現在

未来



I. ノアの過ち

創世記9:20~29

【酔ったノア】 創世記9:20～23

さて、ノアは、ぶどう畑を作り始めた農夫であった。ノアはぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になっていた。

※ぶどう畑、ぶどう酒、酔っ払い ⇒ここが初。

■洪水前は、ぶどう酒はなかった?? (三浦説)

考察①: 墮罪の前は、腐敗もなかった?

考察②: 発酵(=腐敗)の進行が、洪水前の世界では、きわめてゆるやかだった?

考察③: ぶどう酒は、大洪水の裁きの結果、生まれた飲み物?



【酔ったノア】 創世記9:20～21

さて、ノアは、ぶどう畑を作り始めた農夫であった。
ノアはぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になっていた。

- 飲酒は認められているが、酩酊(泥酔)は罪。
ロマ13:13,ガラテヤ5:21
- 義人ノアもまた、罪を抱えた罪人だった。
- 義人ノアは、なぜ泥酔するまで飲んだ？
...洪水により、激変し、変わり果てた世界。
...またしても、罪に陥っていく子孫たち。
ハムの家族の問題？ カナンが問題児？



【ハムとカナンの罪】 創世記 9:22～23

カナンの父ハムは、父の裸を見て、外にいるふたりの兄弟に告げた。それでセムとヤペテは着物を取って、自分たちふたりの肩に掛け、うしろ向きに歩いて行って、父の裸をおおった。彼らは顔をそむけて、父の裸を見なかった。

※見た ...凝視。情欲の目で見た、ということ。

■父ハムの前に、カナンが、ノアの裸を見て、ハムに知らせたと思われる。

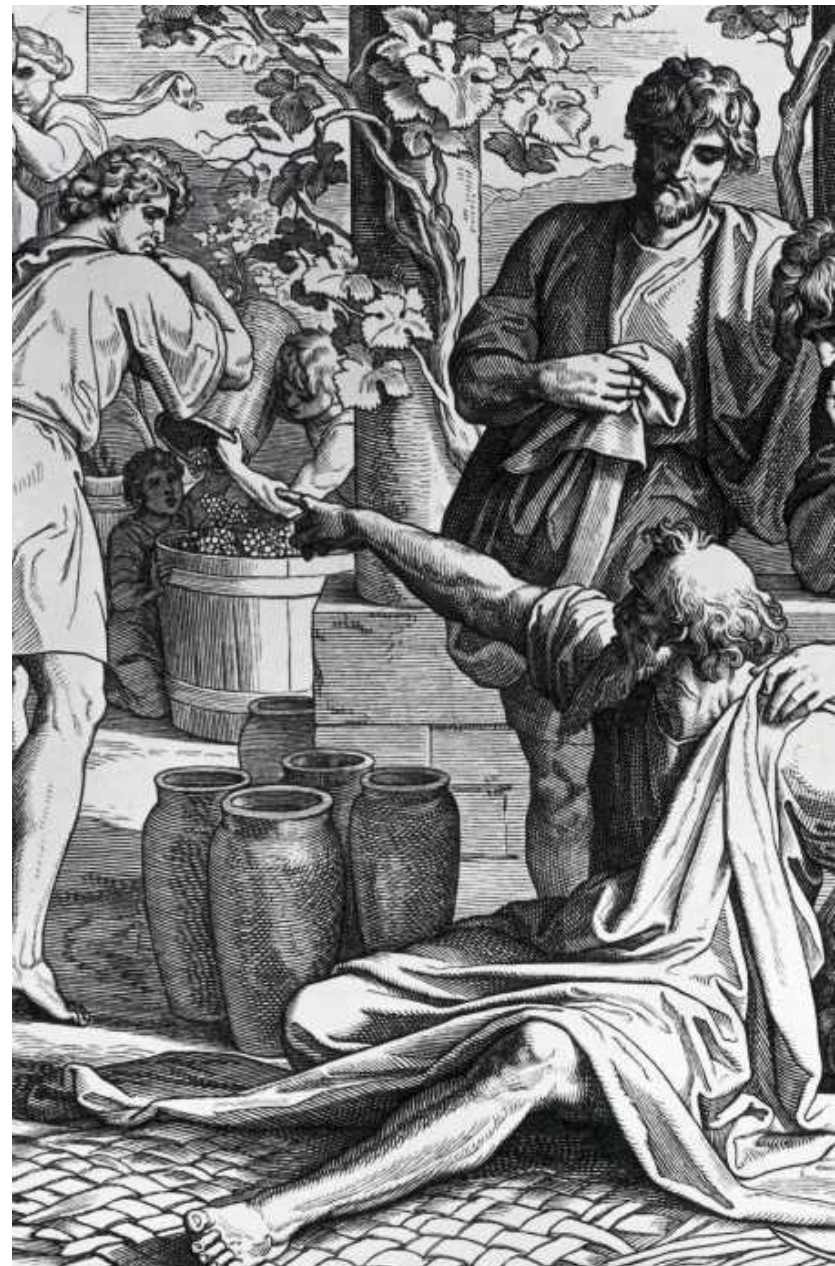


【カナンへの呪い】 創世記 9:24～25

9:24 ノアが酔いからさめ、末の息子が自分にしたことを知って、言った。「のろわれよ。カナン。兄弟たちのしもべらのしもべとなれ」

※ノアの言葉は、ここが最初で最後。
神の預言として告げられる。

- 直接の描写はないが、犯した罪が、最も重かったのがカナンだった。
人格的にも墮落していた?!
ハムの子孫で呪われたのはカナンだけ!!



【セムの祝福・カナンへの呪い】 創世記 9:26

9:26 また言った。「ほめたたえよ。セムの神、
【主】を。カナンは彼らのしもべとなれ。」

- セムの子孫から、イスラエル民族が誕生。
- カナン民族は、墮落した偶像礼拝者となり、
イスラエルと対立!! 厳しい神の裁きを受ける。

...ソドムとゴモラの滅び。

イスラエルによるカナン征服。

生き残りは、イスラエルの奴隷に。



【カナンへの呪い】 創世記 9:27


9:27 神がヤペテを広げ、セムの天幕に住まわせるように。カナンは彼らのしもべとなれ。」

■ ヤペテ ...ヨーロッパ、アジアへ広がる。

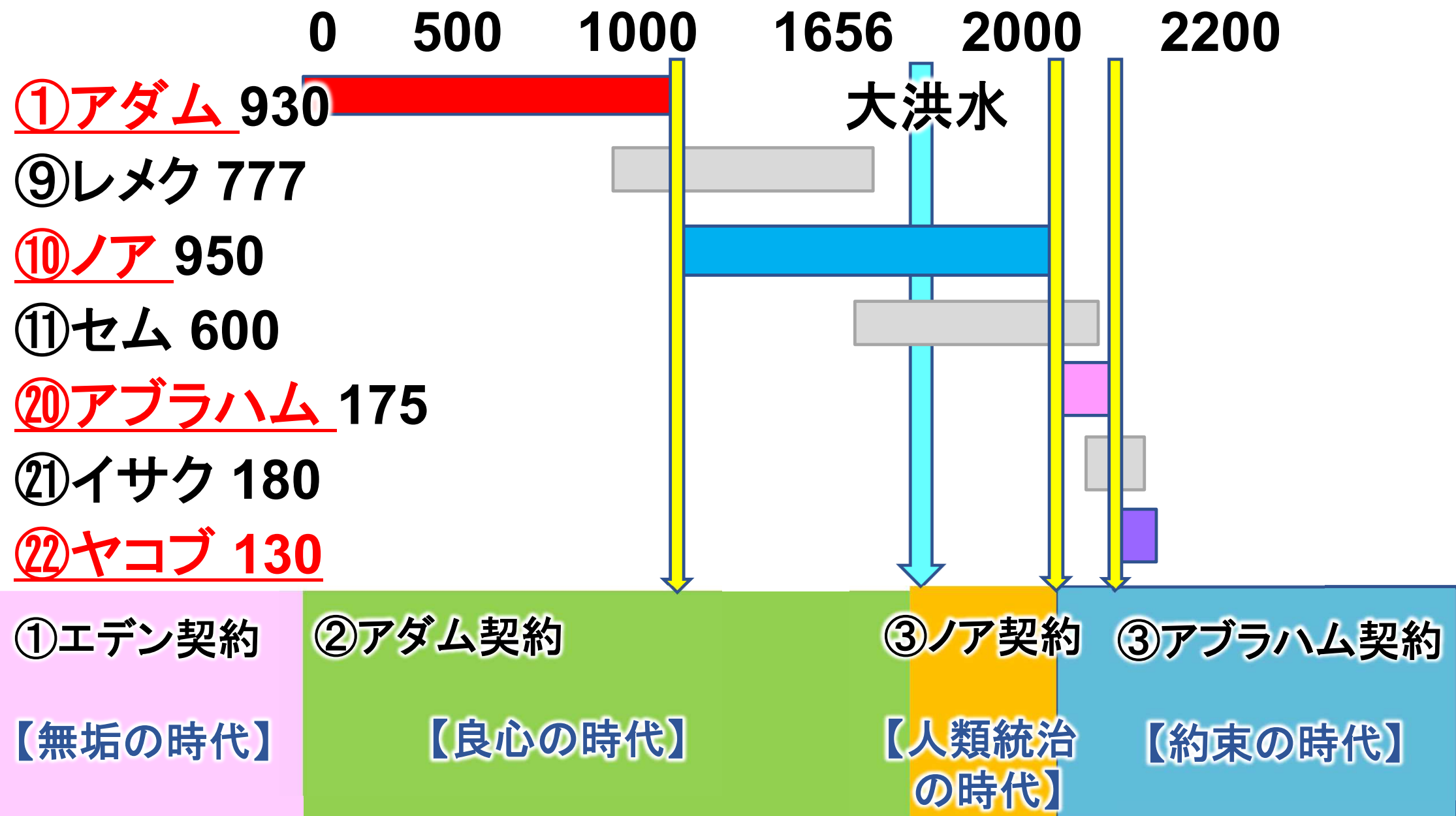
※セムの天幕に住む ...セムと交わりを持つ。
セムの地を支配するが、霊的影響を受ける。

■ カナンの末裔のフェニキア人は、
ギリシャ人、ローマ人の奴隷となった。



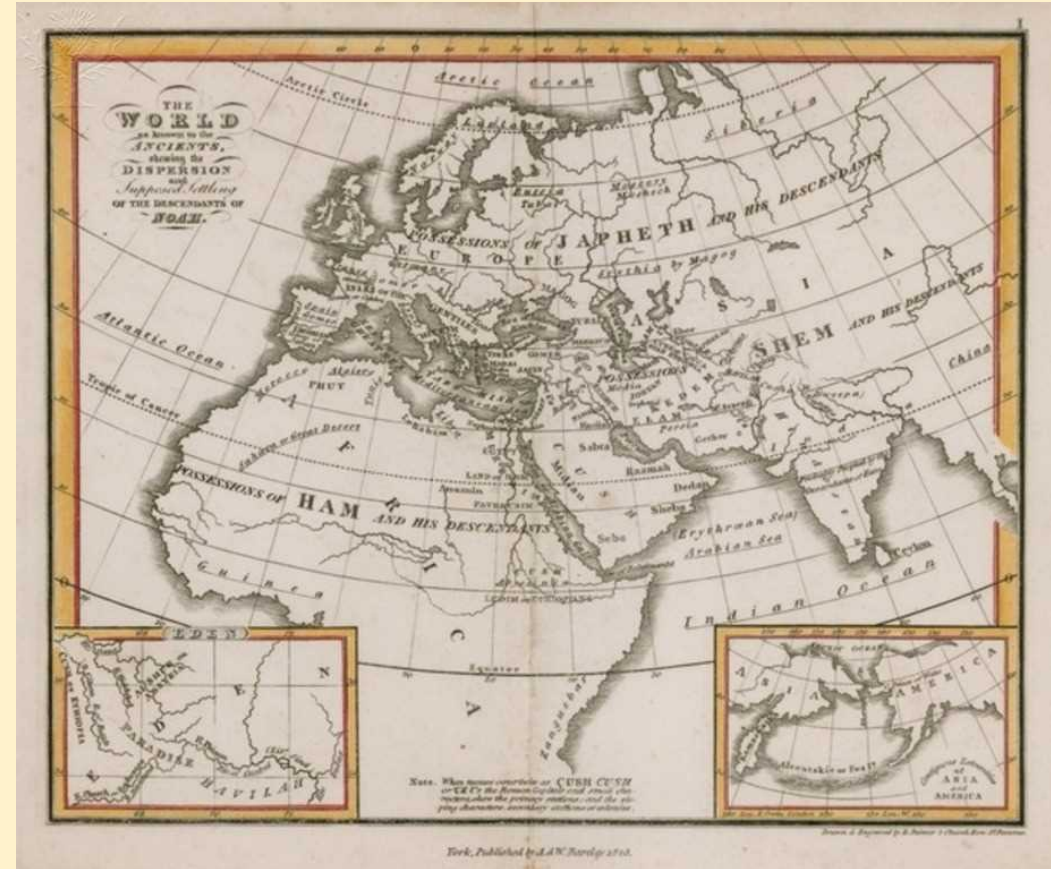


ノアは大洪水の後、三百五十年生きた。
ノアの一生は九百五十年であった。
こうして彼は死んだ。 創世記 9:28～29



Ⅱ. ノアから 増え広がる人類

創世記10章

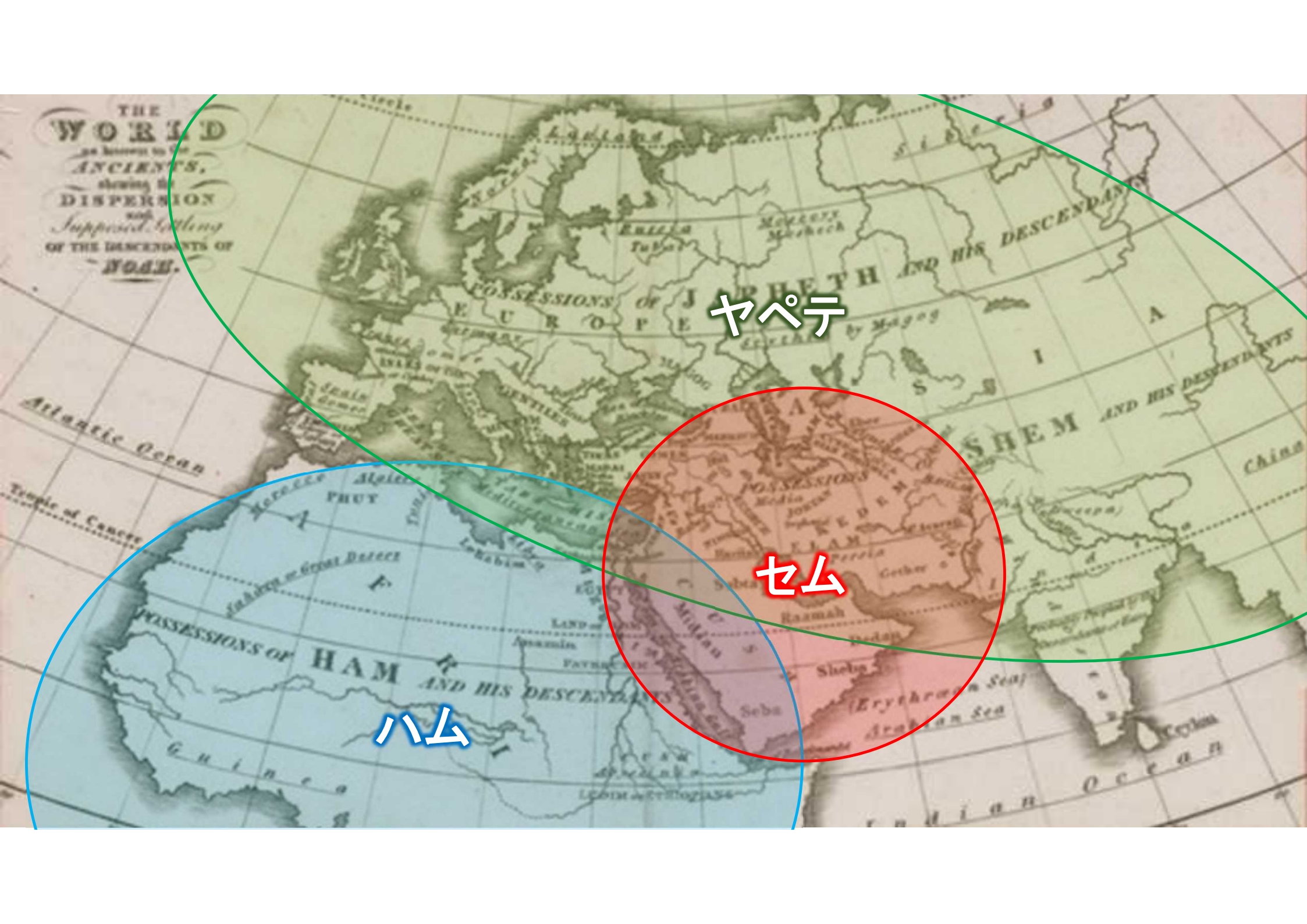


THE
WORLD
as known to the
ANCIENTS,
showing the
DISPERSION
with
Supposed Settling
OF THE DESCENDANTS OF
NOAH.

ヤペテ

セム

ハム



【創世記1~11章までのトルドット】

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| ①2:4~4:26 | 「これは天と地が創造された時の <u>経緯</u> である」 |
| ②5:1~6:8 | 「これはアダムの <u>歴史の記録</u> である」 |
| ③6:9~ | 「これはノアの <u>歴史</u> である」 |
| ④10:1~ | 「これはノアの息子、セム、ハム、ヤペテの <u>歴史</u> である」 |
| ⑤11:10~ | 「これはセムの <u>歴史</u> である」 |
| ⑥11:27~ | 「これはテラの <u>歴史</u> である」 |

【ノアの系図】 創世記10章

10:1 これはノアの息子、セム、ハム、ヤペテの歴史である。大洪水の後に、彼らに子どもが生まれた。

10:5 これらから海沿いの国々が分かれて、その地方により、氏族ごとに、それぞれ国々の国語があった。

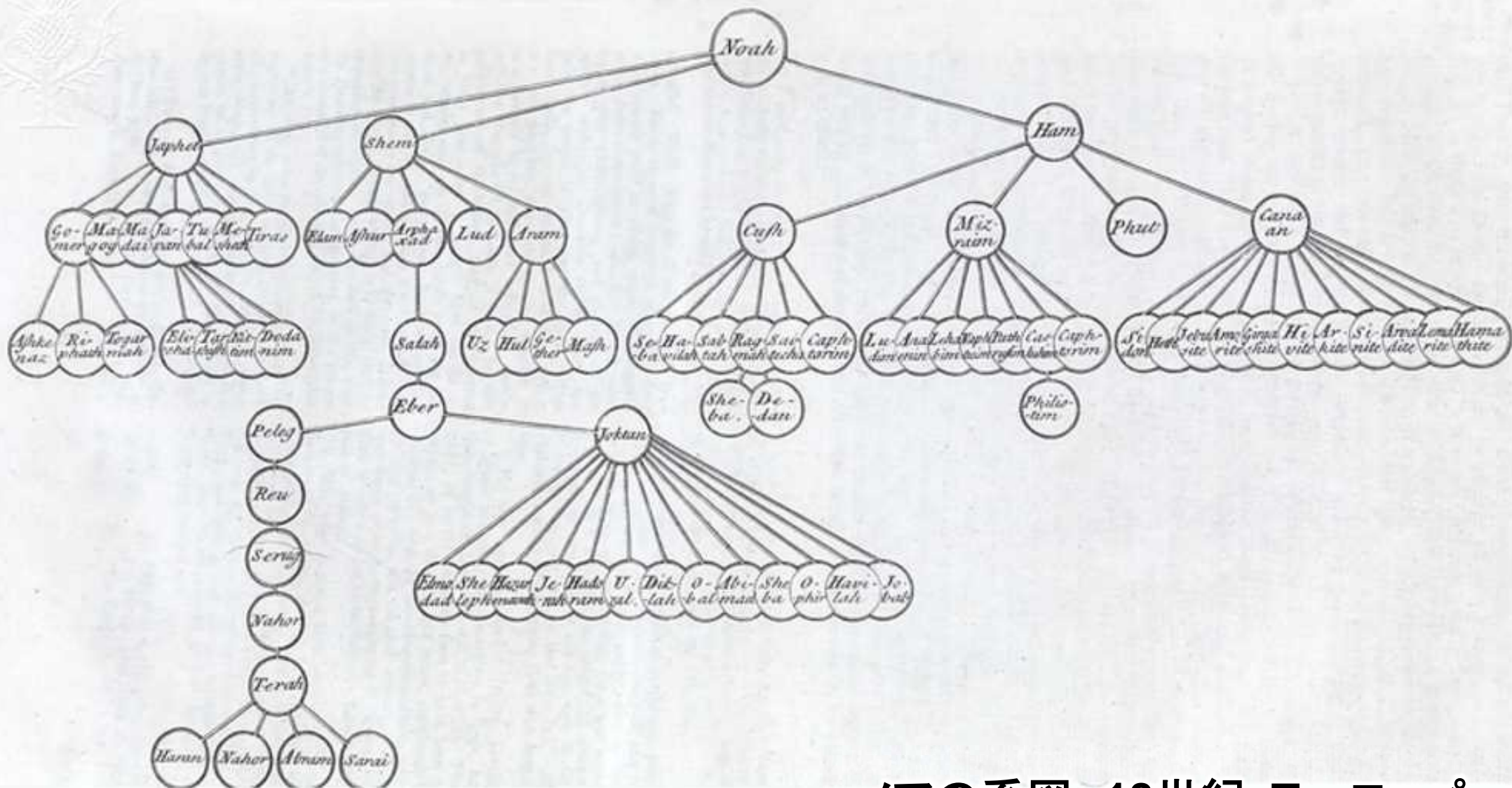
※バベルの塔事件(11章)後の様子。

■セムの子孫・ペレグ(分ける)の時に、バベルの塔事件が起き、民族が分かれた。

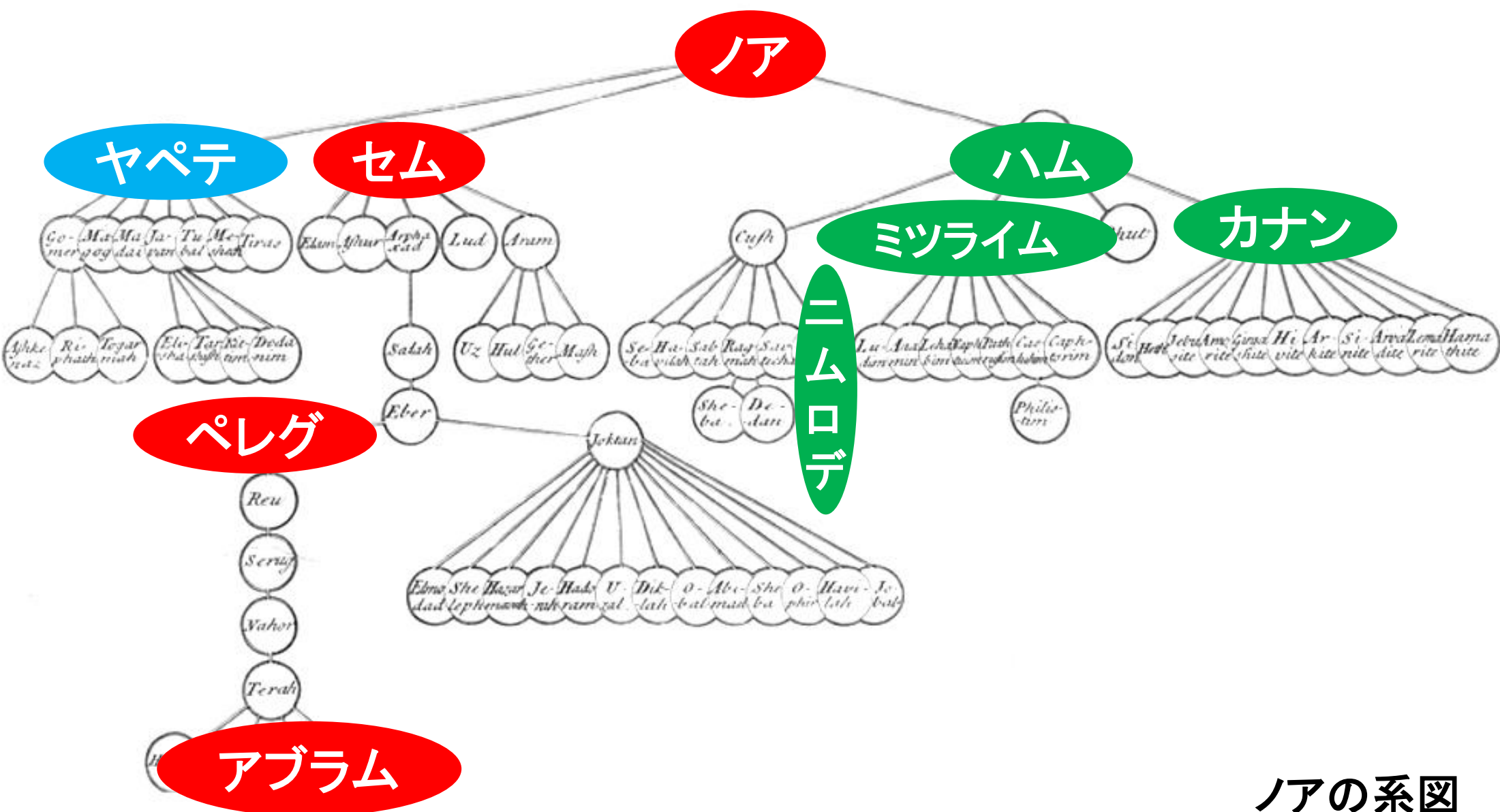


【人類の三つの系譜・70氏族】 創世記10章

	主な地域	ノアの預言	主な氏族
ヤペテ (三男)	ヨーロッパ ・アジア (14氏族)	世界に広がる。 セムの天幕に住む。	ゴメル ヤワン
ハム (次男)	アフリカ 中東 (30氏族)	カナンは、 呪われ、 奴隷になる。	カナン ...イスラエルの敵。 ニムロデ ...邪悪な支配者。 神への反逆者。バベルの塔を建設。 ミツライム ...エジプト。
セム (長男)	中東 アジア (26氏族)	ヤペテへの 宗教的影響。 カナンの支配。	アルパクシャデ ⇒エベル ⇒ ペレグ ■ <u>ペレグの子孫が、メシアの系譜!!</u>



ノアの系図 18世紀・ヨーロッパ



ノアの系図

【ニムロデ・重要人物】 創世記10:8～10

クシュはニムロデを生んだ。ニムロデは地上で最初の権力者となった。彼は【主】のおかげで、力ある獵師になったので、「【主】のおかげで、力ある獵師ニムロデのようだ」と言われるようになった。彼の王国の初めは、バベル、エレク、アカデであって、みな、シヌアルの地にあった。

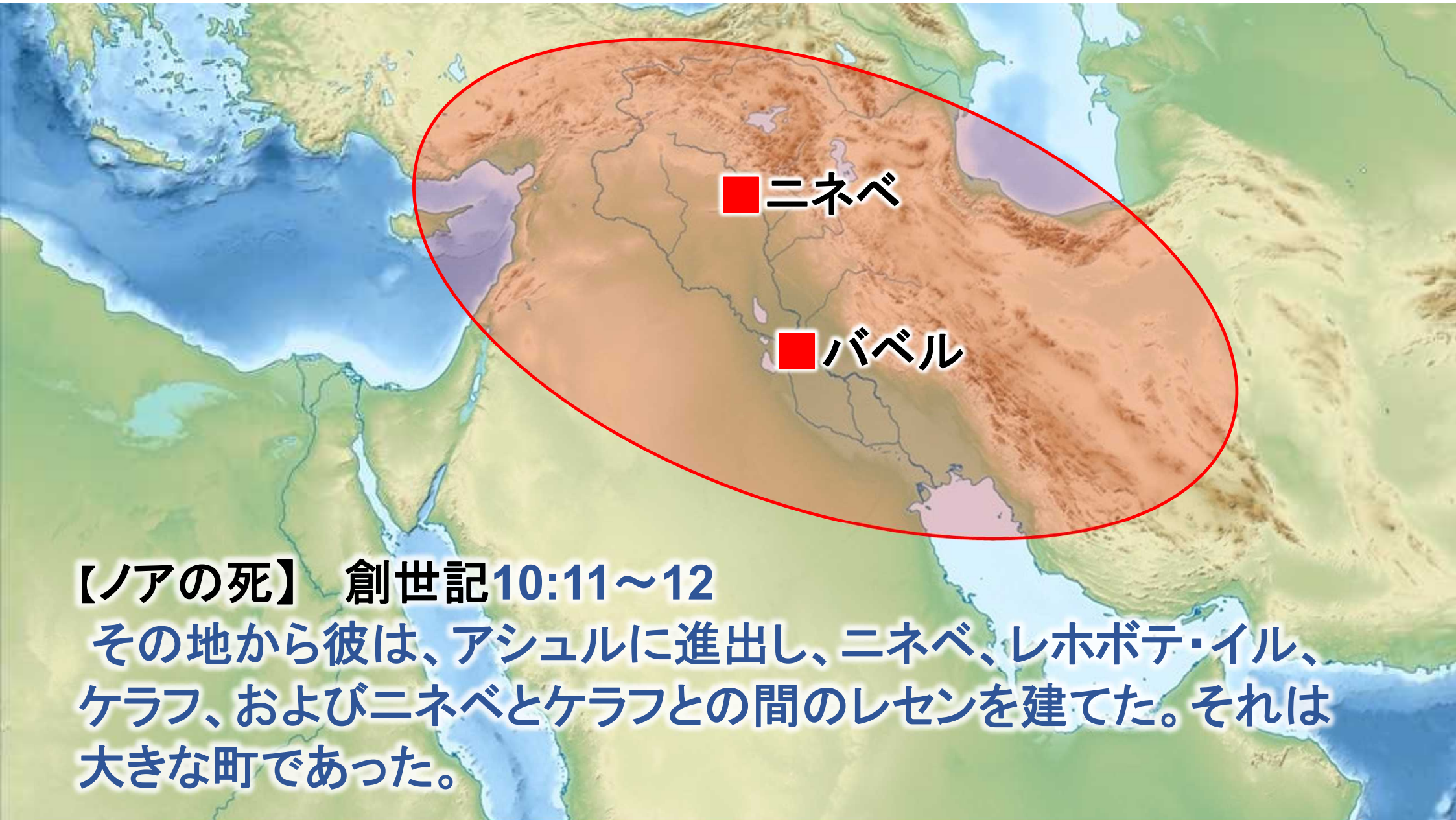
※ニムロデ(反逆する) ...神への反逆者。

※地上で最初の権力者 ...王国の王。

※力ある獵師 ...人をも狩る者。

■ バベルの塔を建設した。(創11:1～9)





■ニネベ

■バベル

【ノアの死】 創世記10:11～12

その地から彼は、アシュルに進出し、ニネベ、レホボテ・イル、ケラフ、およびニネベとケラフとの間のレセンを建てた。それは大きな町であった。

【カナンの子孫】 創世記10:15~19

カナンは長子シドン、ヘテ、エブス人、エモリ人、ギルガシ人、ヒビ人、アルキ人、シニ人、アルワデ人、ツェマリ人、ハマテ人を生んだ。その後、カナン人の諸氏族が分かれ出た。それでカナン人の領土は、シドンからゲラルに向かってガザに至り、ソドム、ゴモラ、アダマ、ツェボイムに向かってレシヤにまで及んだ。

■カナンの子孫は、後のイスラエルの地が増え広がり、定住した。

⇒最も邪悪な民族の地に、神の選びの民が!!



Ⅲ. バベルの塔事件

創世記11章1～9節



【一つのことばの時代】 創世記11:1~2

さて、全地は一つのことば、一つの話しことばであった。そのころ、人々は東のほうから移動して来て、シヌアルの地に平地を見つけ、そこに定住した。

★再記述の法則★

一度全体を語り、重要な部分にズームイン!!

■ 人類全体の広がりを記した10章から、
バベルの塔事件について詳述したのが11章。

※シヌアルの地 ...チグリス・ユーフラテス流域。
後のバビロニア。現イラク。



【人類の反逆の象徴】 創世記11:3～4

彼らは互いに言った。「さあ、れんがを作ってよく焼こう。」彼らは石の代わりにれんがを用い、粘土の代わりに瀝青を用いた。そのうちに彼らは言うようになった。「さあ、われわれは町を建て、頂が天に届く塔を建て、名をあげよう。われわれが全地に散らされるといけないから。」

※れんが ...石と違い、大量生産が可能に。

※瀝青(アスファルト)...石油の変質物。防水性。

大洪水の裁きを意識?!

■「地に満ちよ」という神の命令に反し、集まり、自らを神とする。 ⇒神への明確な反逆。



【創造主の思い】 創世記11:5~7

そのとき【主】は人間の建てた町と塔をご覧になるために降りて来られた。【主】は仰せになった。「彼らがみな、一つの民、一つのことばで、このようなことをし始めたのなら、今や彼らがしようと思うことで、とどめられることはない。さあ、降りて行って、そこでの彼らのことばを混乱させ、彼らが互いにことばが通じないようにしよう。」

※降りてこられた ...人類史上最大の建築物も、
神から見れば、どれほどちっぽけか!!
■ 人類の悪を放置すれば、大洪水の二の舞に!!



【混乱と離散】 創世記11:8~9

こうして【主】は人々を、そこから地の全面に散らされたので、彼らはその町を建てるのをやめた。それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。【主】が全地のことばをそこで混乱させたから、すなわち、【主】が人々をそこから地の全面に散らしたからである。

※「バビロン(神の門)」 ⇒ 「バベル(散らす)」
「バラル(混乱させる)」

※人類の離散の結果が、10章の民族分布。



【考察・バベルの塔事件!!】

■ 起こった年は？

ペレグ(分ける)の時代 ...洪水後101~310年

⇒ノアも存命中の出来事!!

■ 当時の人口は？

数千~数十万~数百万?!

⇒現在の言語数 2000~6000とも。

■ 10章の70民族以外にも民族が？

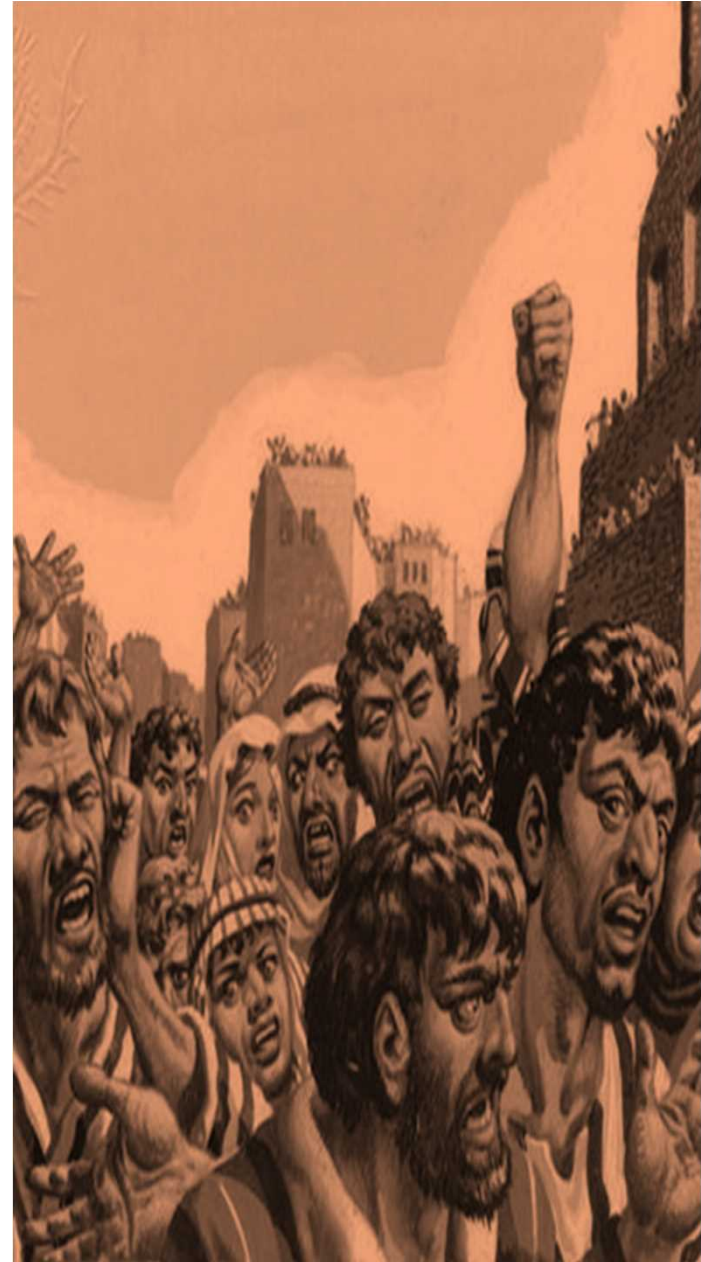
⇒それぞれの子孫の記載は不均等。

⇒70は完全数。全民族を現す象徴的数。

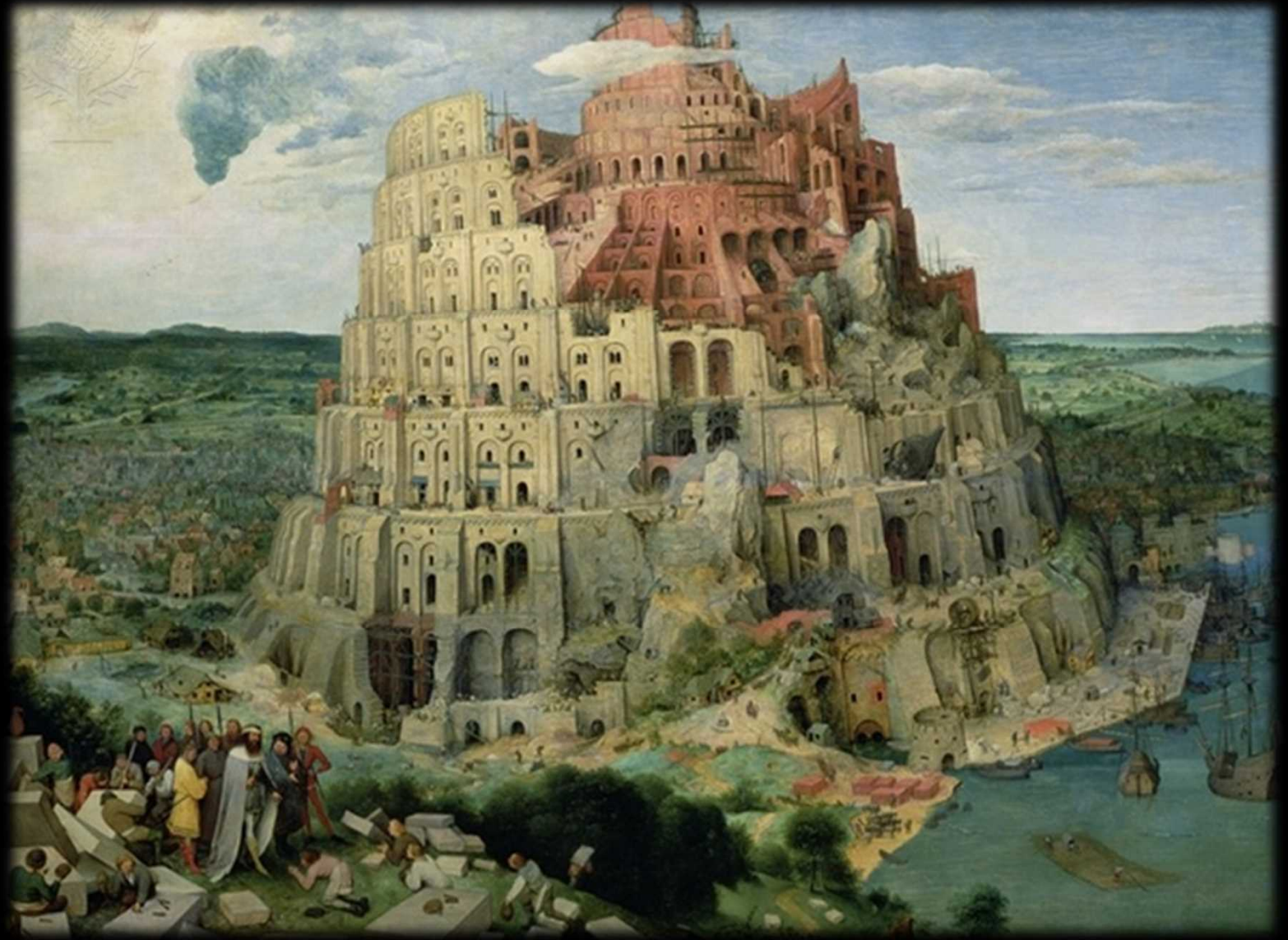
(※イスラエル12部族 ⇒実際は13部族。)

■ 仮に35万人が、100人ずつのグループに分かれたら？

⇒想像を絶する混乱、混沌、争い、対立。



IV. 人類の 希望は どこに？



【創世記11章までを振り返る】

■三つのターニングポイント

①エデン契約の破棄

善悪の知識の実を食べ、信任を得るテストに失敗!!
地は呪われ、罪と死が、人類を支配するように。
アダム契約を結ばれ、神は、人間の良心に世界を委ねた。

②大洪水の裁き

殺人、神への反逆、悪との交わりの末の大洪水の裁きの後、
ノア契約により死刑が定められ、神は、人間の組織に委ねた。

③バベルの塔事件

またしても人は神に反逆。共通言語を失い、世界に散らされた。

【創世記11章までに明らかになったこと】

①人類は、たった一つの約束も守れなかった。



②人類は、**良心**によって、世界を正しく治めることはできなかった。



③人類は、**組織**によっても、世界を正しく治められなかった。

人類の良心も、組織も、世界を正しく治められなかった。
人間は、自分の努力で、神との平和を作り出すことはできない!!

では、いったい、どうしたら？ 人類の希望はどこに？

【ノアの生涯を振り返る】

- ①480歳 ...洪水の警告を受ける。
箱舟建設。人々への伝道。
- ②500歳 ...3人の息子をもうけていた。
- ③600歳 ...大洪水。**地は滅ぼされた。**
家族8人だけが、信じて救われた。
子孫が増え広がっていく。
カナンの罪。再び増していく罪。
暴君ニムロデ。神への反逆。
人類は、散らされた。
共通言語を失い、混乱の内に。
- ④950歳 ...死去。

ノアは二度も、
神の全人類的裁きを
経験した!!

ノアの希望は、
どこにあったのか？



創 3:15

「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかとかみつく」

…子孫の約束は、守られ、受け継がれていった。

創世記11:26

「テラは七十年生きて、アブラムとナホルとハランを生んだ。

受け継がれる
メシアの希望!!



酔っ払ったノアの
罪と悲しみ
ぶどう酒に象徴される
裁きと救いを思う



【ぶどう酒が象徴する二つのこと】

①罪への**神の怒り**の象徴 or 誘惑するもの

「黙 14:10 そのような者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた**神の怒りのぶどう酒**を飲む。」

詩篇75:8,イザヤ51:57,エレ25:15,マタイ26:42

②神の**祝福**の象徴 or **罪の贖い**の象徴

「マタ 26:27 また杯を取り、感謝をささげて後、こう言って彼らにお与えになった。「みな、この杯から飲みなさい。」

創14:18,27:25,詩104:15,ゼカ10:7,ヨハネ2:20,



【ぶどう酒に象徴的に示された救いを思う】

■ 神の怒りと、神の祝福が一体となった瞬間。

「ヨハ 19:30 イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「完了した」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった。」

※酸いぶどう酒 ...ワインビネガー。一般的飲料。
水で薄めて飲んだ。

■ 極まった人の罪を、神の怒りの杯を
主イエスが十字架で飲み干された。

■ 主イエスの十字架の死、葬り、復活の
福音を信じる。そこに、私たちの救いがある。



「天のお父さま。

あなたに逆(さか)らい続(つづ)けていたわたしを、
あなたは、主イエスによってゆるし、和解(わかい)して
くださいました。わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したこと、を信(しん)じます。

繰(く)り返(かえ)された罪(つみ)を、ゆるしつづけてくだ
さった。はかりしれない恵(めぐ)みに感謝(かんしゃ)します。
主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」